

# 教育課題連絡会議

## 重点（５） 生徒指導の充実

お手元に御準備ください。

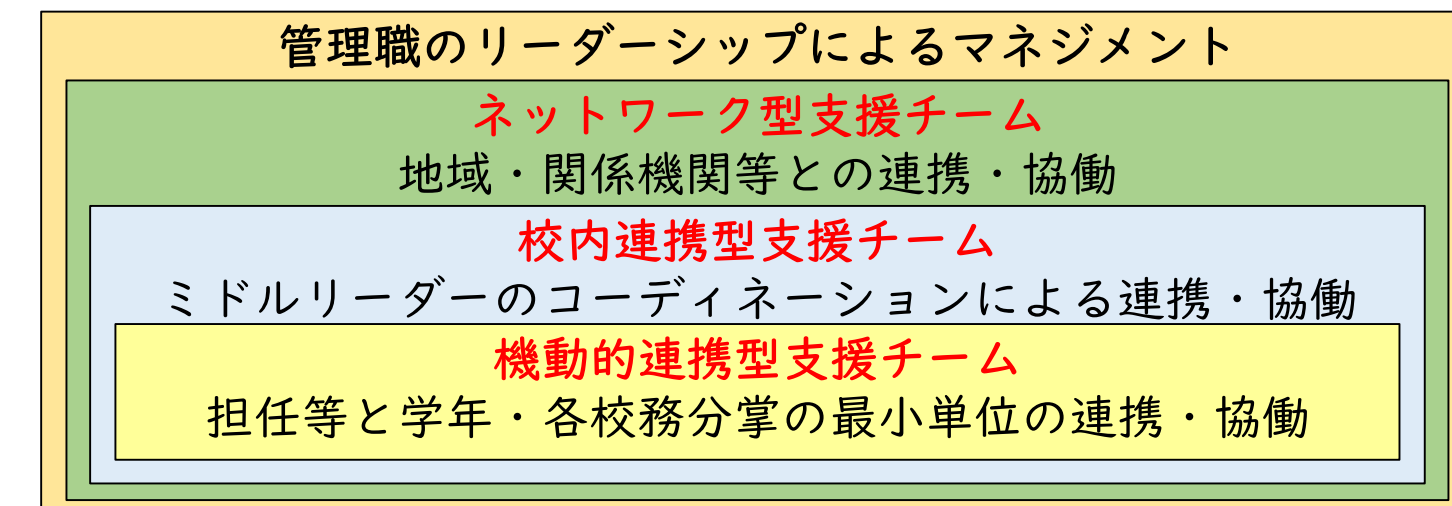
- ◆スライド資料
- ◆R7「下北の教育」（案）

1

## ★令和６年度の力点（特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項）

### ３ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

★児童生徒の個別性・多様性・複雑性に対応した学校全体で取り組む教育相談を充実させる。



図「支援チームの形態」

生徒指導提要 p92  
※担当者作成

職員会議後等、児童生徒の情報交換の場の設定

学校生活アンケート等の実施

2

## 下北管内のいじめ、不登校の現状

### 【小学校】

◆いじめ認知件数  
R5 32 → R6 83 ↑

◆いじめ実指導人数  
R5 50 → R6 94 ↑

◆不登校児童数(30日以上)  
R5 12 → R6 18 ↑

### 【中学校】

◆いじめ認知件数  
R5 21 → R6 11 ↓

◆いじめ実指導人数  
R5 26 → R6 32 ↑

◆不登校生徒数(30日以上)  
R5 80 → R6 70 ↓

出典：R5・6 生徒指導状況報告書Ⅰ期（４月～７月）の管内集計

3

## 令和７年度の変更点

### １ 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実

- ・研修会等で得られた知識や情報を共有し、教職員同士が学び合う文化・風土が根付くよう、校内研修の一層の工夫と充実を図る。

教職員：「学び続ける教員」

学校：継続的に組織を改善

自己を理解し、自らの実践や体験を批判的に問い直す姿勢を持ち続ける

学校が「学習する組織」へと変容していく

教職員個々の生徒指導の力量形成  
組織改善を継続できる学校の組織力向上

4

## 令和7年度の変更点

### 2 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導と学年・学級経営の充実

- ・発達支持的生徒指導の考え方を生かし、教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくりを行う。
- ・児童生徒に主体的に課題に挑戦することや多様な他者と協働して創意工夫することの重要性を実感させるために、生徒指導の実践上の視点に留意した学年・学級経営に努める。

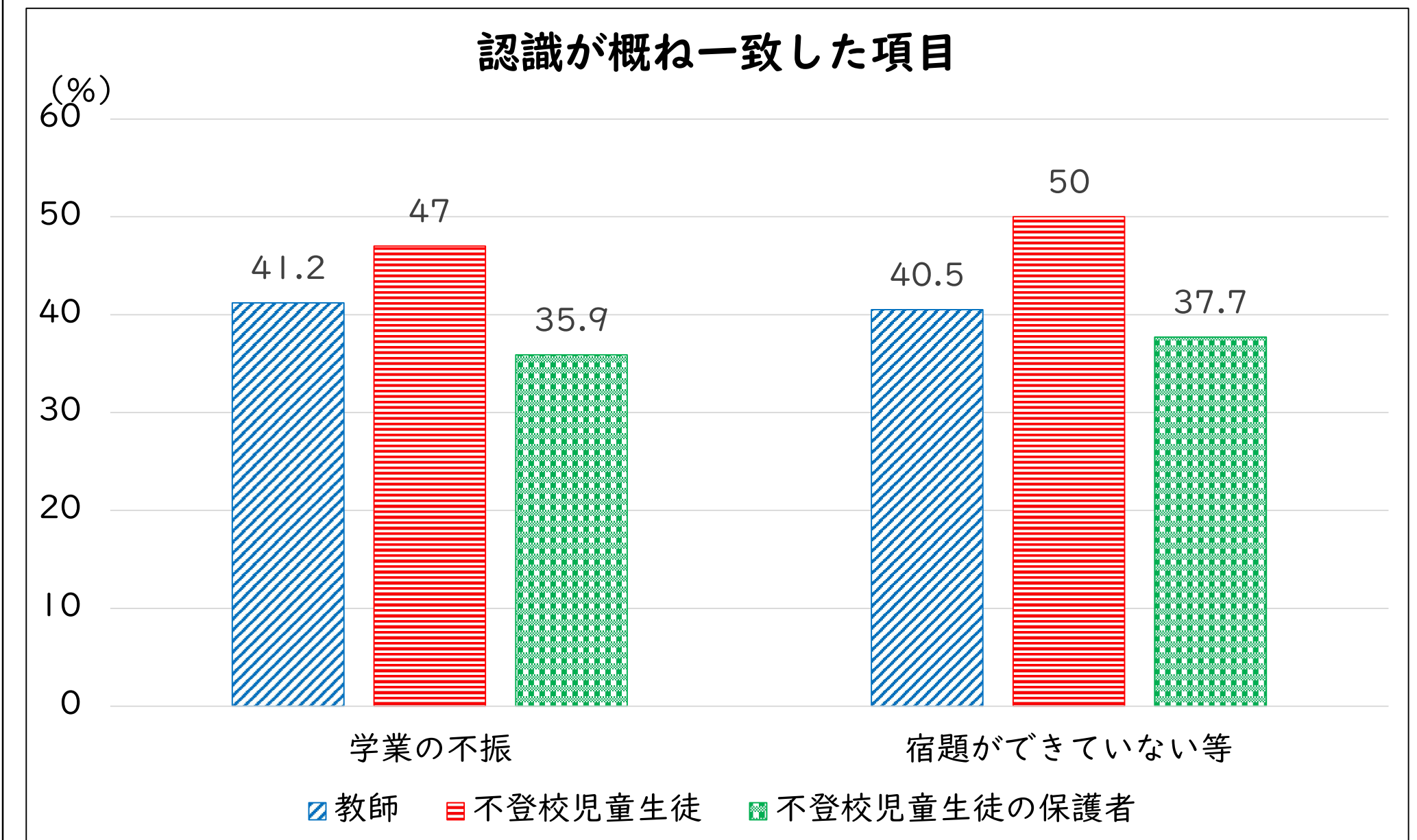
#### 生徒指導の実践上の視点

- ①自己存在感の感受
- ②共感的な人間関係の育成
- ③自己決定の場の提供
- ④安心・安全な風土の醸成

お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送ることができる風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切

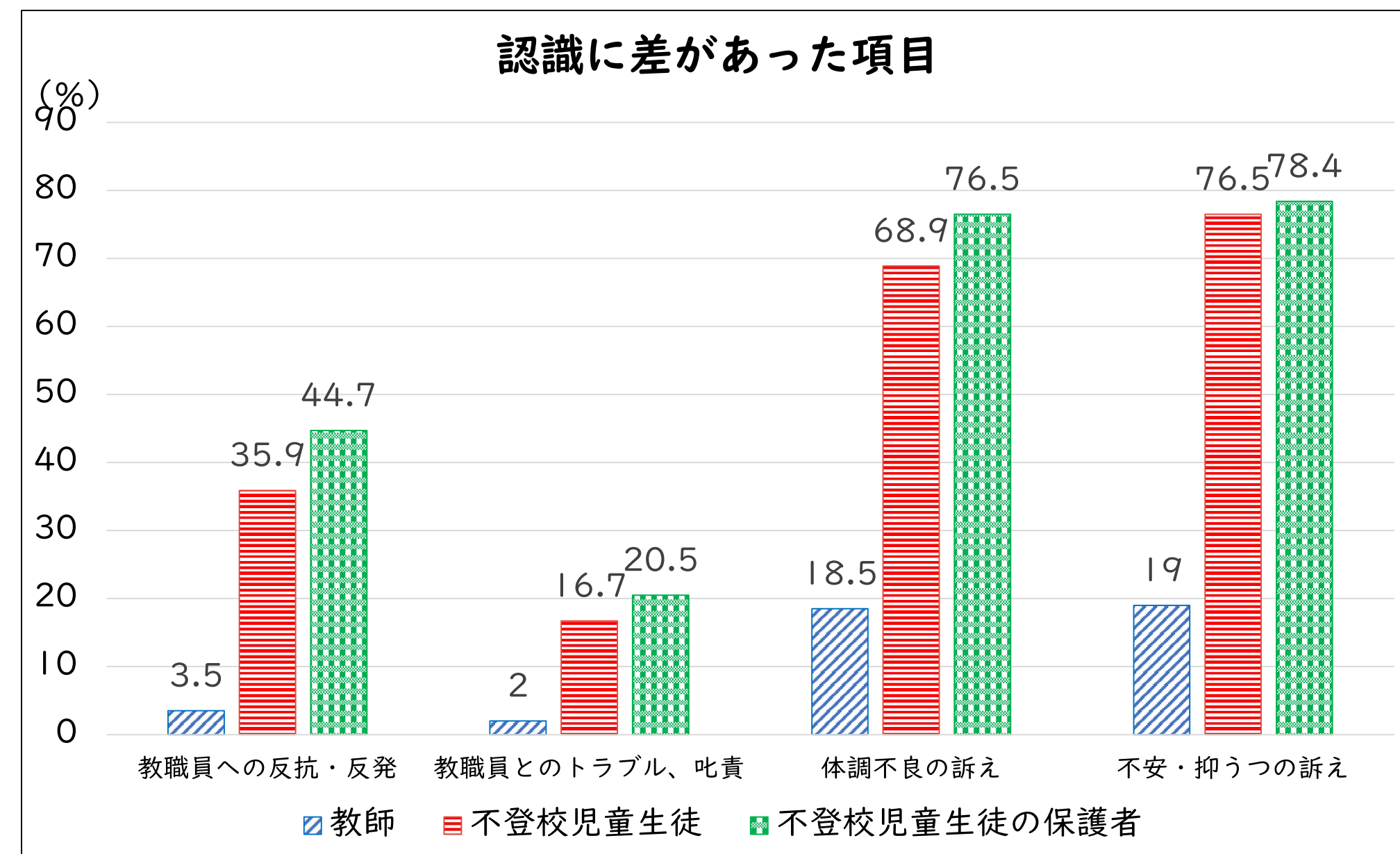
5

## 不登校の要因に関する教師・児童生徒・保護者の認識の比較



6

## 不登校の要因に関する教師・児童生徒・保護者の認識の比較



7

## 令和7年度の変更点

不登校児童生徒がいない学校にも意識して取り組んでいただきたい

### 5 不登校の未然防止及び児童生徒の社会的自立を目指した支援の充実

- ・不登校の未然防止に向け、全ての児童生徒が安心して生活し活躍できる場面がある「魅力ある学校づくり」を推進する。
- ・児童生徒の実態、気持ちを理解し、思いに寄り添い、アセスメントに基づく個に応じた具体的な支援を行う。
- ・児童生徒の学習状況に応じて、指導方法や指導体制を工夫・改善し、個に応じた学習指導を行う。
- ・不登校児童生徒や保護者に対して、学校、家庭、SC、SSW、関係機関等の役割を明確にし、個に応じた多様な社会的自立に向け、計画的な支援を推進する。
- ・児童生徒理解・支援シート等を活用し、児童生徒に関する情報及び効果的な支援方法を共有するなど、校種を越えた切れ目のない支援の充実を図る。

8

## 參考資料

児童生徒理解・支援シート（参考様式）

[illegible]

出典：R元.10.25 不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）（文部科学省）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1422155.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1422155.htm)



9

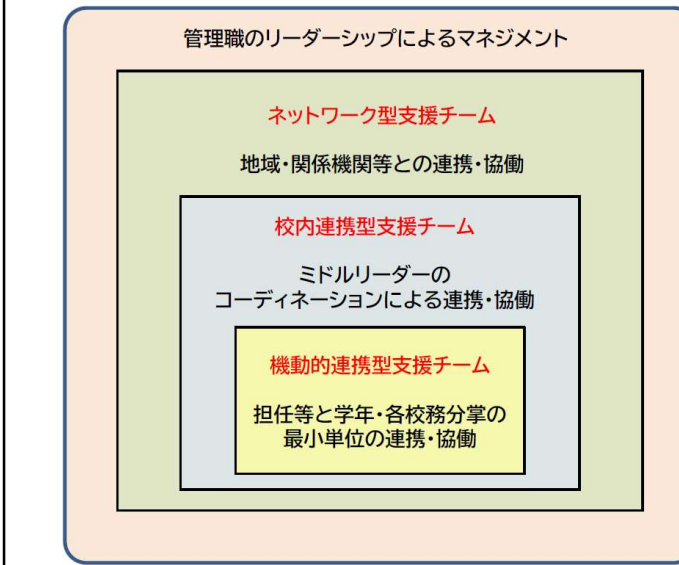
★令和7年度の力点（特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項）

### 3 児童生徒理解に基づいた教育相談の充実

★学校内外の連携に基づく包括的な支援体制を構築し、児童生徒の個別性・多様性・複雑性に対応した学校全体で取り組む教育相談を充実させる。

全ての児童生徒対象：発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育

課題を抱えたり危機に陥ったりしている児童生徒対象：困難課題対応の生徒指導  
及び課題早期発見対応



- 管理職のリーダーシップによるマネジメント

ネットワーク型支援チーム

地域・関係機関等との連携・協働

校内連携型支援チーム

ミドルリーダーの  
コーディネーションによる連携・協働

機動的連携型支援チーム

担任等と学年・各校務分掌の  
最小単位の連携・協働

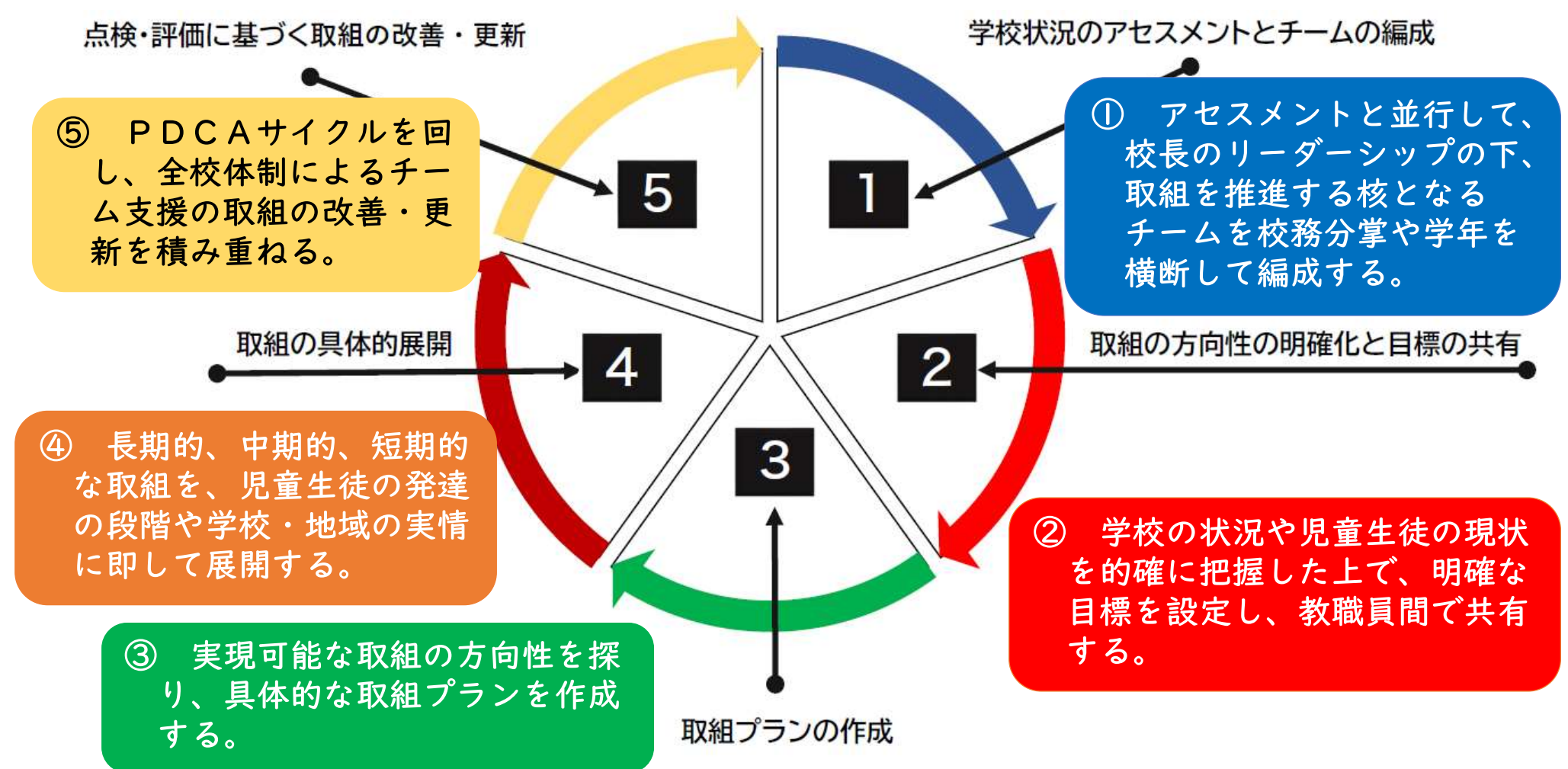
  - ・生徒一人一人への適切な指導・援助が行えるように、それぞれの分野の垣根を越えた総括的な支援体制をつくることが求められる。
  - ・担任一人ではできないことも、他の教職員や他職種の専門家、関係機関がチームを組み、アセスメントに基づいて役割分担することで、指導・援助の幅や可能性が広がる。

図 支援チームの形態 生徒指導提要 p92 (文部科学省) 10

10

## チーム支援のプロセス①（発達支持的生徒指導及び課題未然防止教育）

校長のリーダーシップの下、全校体制で取り組むチーム支援プロセスと留意点

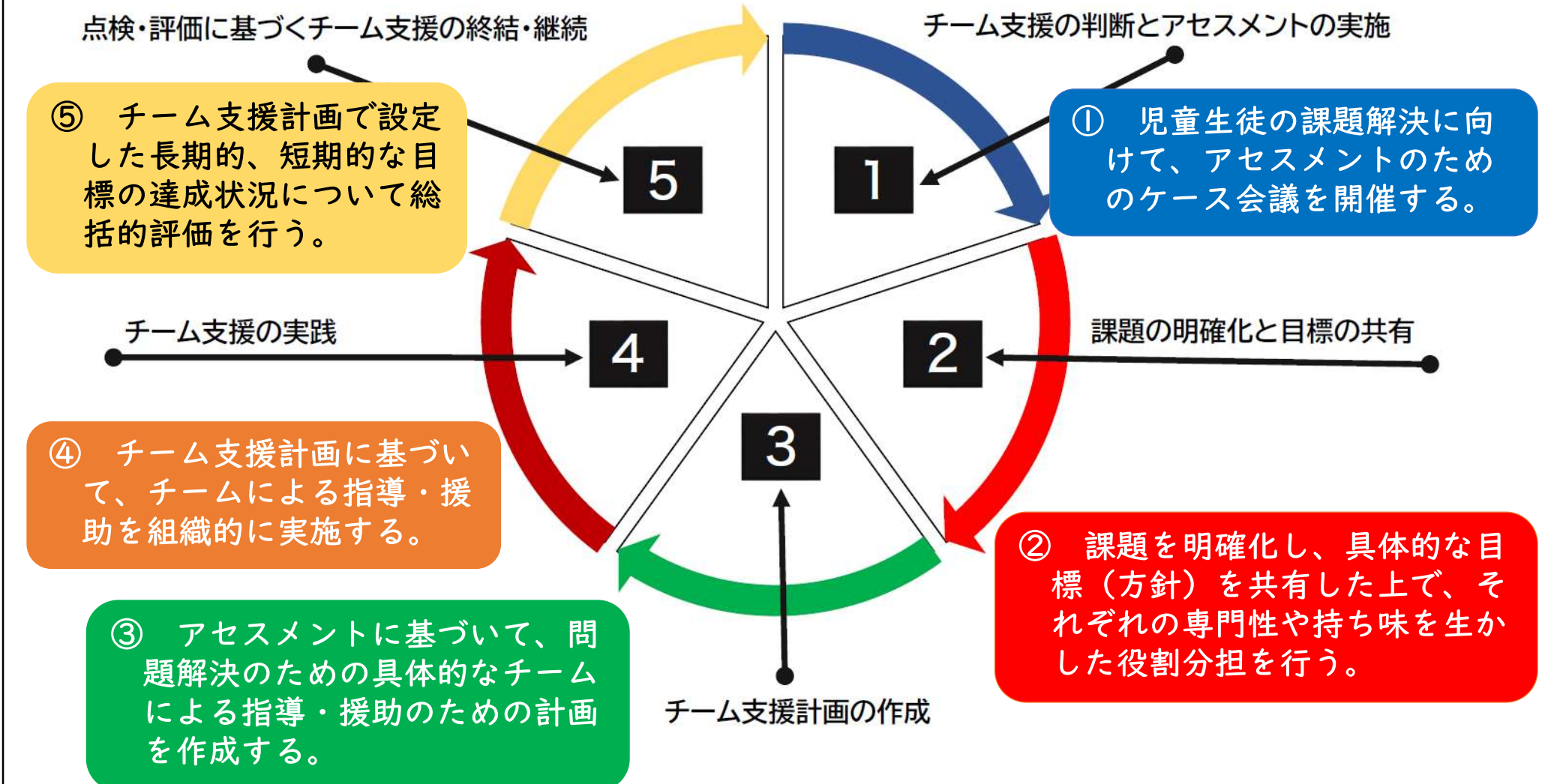


出典：生徒指導提要 p94～p96（文部科学省）

11

## チーム支援のプロセス② (困難課題対応的生徒指導及び課題早期発見対応)

他職種との協働も視野に入れた包括的な支援をチームとして展開するプロセスと留意点



出典：生徒指導提要 p90～p93（文部科学省）

12